令和元(2019)年度 新規就農者育成研修 報告書











NPO法人九州エコファーマーズセンター

1.はじめ
(C · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2.令和元(2019)年度研修生進路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1
3.研修風
景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2
4.巡回指導(現役研修
生)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4
5.巡回指導(修了
生)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4
6.就農相
談
4
7.研修相
談
5
8.集合研修セミナー
(1) 第1回集合研修セミナ

6	
	(2) 第2回集合研修セミナ
— • 7	
•	(3) 第3回集合研修セミナ
- • 7	
	(4) 第4回集合研修セミナ
- •	
8	
	(5) 第5回集合研修セミナー(第1回 県下新規就農研修生
集合	研修会)・・9
	(6)第6回集合研修セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
10	
	(7) 第 7 回集合研修セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
11	
	(8) 第 8 回集合研修セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
12	
	(9) 第9回集合研修セミナー(第2回 県下新規就農研修生
集合	研修会)・・13
	(10)第 10 回集合研修セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
14	
	(11) 第 11 回集合研修セミナー(第 3 回 県下新規就農研修

生 集合研修会)・・15

(12) 第12回集合研修セミナー・修了式(中止)

修了証書・記念品授

21

1.はじめに

平成31年4月~令和2年3月は、11名の研修生を対象として研修を実施した。内、2名が独立就農、2名が雇用就農、1名が就農に向けて準備中、6名が次年度も研修継続となった。

研修中は、それぞれ受入農業法人・農家の指導のもと、独立自営就農及び雇用就農へ向けて技術、知識等の習得を目指した。また、それ以外にも農地取得や経営計画の作成指導等を受入農業法人・農家及び当NPO法人が行い、円滑な就農に繋がるよう尽力した。

また、集合研修セミナーは、計 11 回行った。基礎的な座学の他に、市場視察、農家視察、販路開拓講習、ライフサイクル作成、県下の各認定研修機関所属の研修生との合同研修、先輩新規就農者とのディスカッション等の項目を実施した。

加えて、事務局長や専任職員が定期的に研修先を巡回、必要に応じて回数を増やしながら、現況を聞き取り相談に応じ、受入農業法人・農家とも研修中の諸事及び研修修了後の進路等について協議、打合せを実施した。

2. 平成 30 年度 研修生進路

No.	氏名	性 別	年齢	出身地	営農類型	進 路
1	Α	男	25	佐賀県	放牧赤牛一貫経営	南小国町で独立
2	В	男	20	熊本県	茄子、メロン、西瓜、南瓜、ホウレン草	熊本市で雇用就農
3	С	女	39	熊本県	柑橘	研修継続
4	D	男	29	茨城県	苺、馬鈴薯、水稲、観光農園	南阿蘇村で雇用就農
5	Е	男	31	熊本県	柑橘	研修継続
6	F	女	38	熊本県	トマト、ミニトマト、ホウレン草	研修継続
7	G	男	27	熊本県	柑橘	就農準備中
8	Н	男	29	熊本県	野菜数種、柑橘	研修継続
9	I	男	40	熊本県	柑橘、柿	玉東町で独立
10	J	男	32	熊本県	トマト、ミニトマト、ホウレン草	研修継続
11	K	男	24	熊本県	パプリカ、柑橘類、他、野菜数種	研修継続

※氏名は個人情報なので匿名とした(年齢は令和2年3月31日現在)

3.研修風景

























4.巡回指導(現役研修生)

事務局長及び専任職員が、定期的に研修先を巡回し、研修生と個別に面談して研修状況や生活についてのヒアリングを実施した。研修や生活に関する悩みを聞いて相談に応じ、指導・助言を行った。必要に応じて一か月間に複数回の巡回指導を行い、都度、相談に応じた。

また、受入農業法人・農家とも研修中の課題や今後の方針、研修修了後の進路等について協議、 打合せを実施して、研修後にスムーズな就農となるよう努めた。





5.巡回指導(修了生)

営農開始後、間もない修了生の圃場を事務局長及び専任職員が巡回して相談に応じ、指導・助言を行った。今後も必要に応じてフォローを継続する。







6.就農相談

就農を控えた研修生に対し、農地や諸制度に係る書類作成や手順、提出先、タイムスケジュール等の助言・指導を行った。経営計画の作成指導、助言も併せて行った。

また、就農予定地の地域振興局担当者や市町村担当者とも連絡を取って情報を共有し、円滑な就 農の実現を目指した。

就農に際しては、事務局が実際に市町村窓口へ行き、担当部署と協議・打合せを実施した。卒業生も含め今後も就農時及び就農後の支援を継続する。





7.研修相談

東京、大阪で計 6 回開催された(株)リクルートジョブズ主催「新・農業人フェア」、熊本で開催された(株)マイナビ主催(熊本県新規就農支援センター・(株)肥後銀行共催)「就農 FEST 熊本」、同じく熊本で 2 回開催された熊本県新規就農支援センター主催「熊本県新規就農を活力を就農・就業相談会」へ出展し、多くの相談者と面談を行った。その中から複数人が農業体験に訪れ、令和 2 年度に長期プロ農家育成研修に入る予定となった方もいた。また、他の研修機関とも情報を共有した。募集チラシやHP、Facebook、Instagram、Twitter 等を見て連絡してきた相談者や、関係機関からの紹介で訪れた相談者にも対応した。希望する作目や地域の受入農業法人・農家とのマッチングを行い、実際に農業体験を行った相談者も多数居た。今後も随時、研修相談を受付ける。













8. 集合研修セミナー

(1) 第1回集合研修セミナー

日時:平成31年4月24日(水) 13時00分~16時00分

会場:ホテル AZ 熊本大津「藤の間」

内容:「農業訓」

「各々の状況に応じた就農について」

「研修中の諸事について」

講師:NPO法人九州エコファーマーズセンター事務局長 吉村 孫徳

参加者:研修生9名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名 計11名

目的: 新規参入で農業を始めようと希望する研修生に対し、新規参入のリスク、問題点、就農への壁等の現実を捉えてもらう。また、各自の状況についての違いを考えてもらい、成功に近づくための道筋をリアルに把握し、一年間乃至二年間の農業研修に対する強い姿勢を持ってもらう。



講義風景



事務局長・吉村

第1回集合研修セミナー アンケート結果

・大変良かった 100%

成果・感想

- ・村社会に溶け込む5原則が参考になった
- ・五感で感じる事、自然の変化と対話すること
- ・技術だけではない、農業との向き合い方について学べた
- ・自分の考えの甘さに気付くことができた

(2) 第2回集合研修セミナー

日時:令和元年5月22日(水) 10時00分~16時00分

会場:熊本県農業公園

内容:「地域集落での付き合い方」

「農地貸借・取得|

「新規就農者の注意点」

講師:NPO法人九州エコファーマーズセンター事務局長 吉村 孫徳

参加者:研修生9名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名 計11名

目的: 地域集落での付き合い方、農地貸借・取得の際や新規就農者の注意点等、就農するに当たり必要な諸々について、数多くの新規就農者を育成してきた講師の経験から学ぶ。また、研修生同士が意見・考えを出し合って共に考える。



講義風景



講義風景

第2回集合研修セミナー アンケート結果

・大変良かった 100%

成果

- ・日頃から地域との交流が大切ということが理解できた
- ・全員で話すことで色々な意見が聞けてとても良かった
- ・全員参加型のセミナーで良い雰囲気で刺激にもなった
- ・時代背景から地域性が色濃く残っていることが分かった

(3) 第3回集合研修セミナー

期日:令和元年6月21日(金) 12時30分~16時00分

会場:ホテル AZ 熊本大津「藤の間 |

内容:「農業関連法律・組織」「農地取得について」

講師:元・熊本県立農業大学校 副校長

熊本県農業経営同友会 参与 黒木 隆 氏

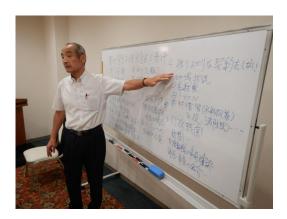
参加者:研修生9名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名 計11名

目的: 農業者として知っておかなければならない農業関連の法律・組織を学ぶ。

また、これまでの新規就農者の失敗事例を基に、原因と予防策、改善策を皆で話し合い考察して、自らが就農した際に活かす。更に、農地の取得(貸借)に係るハードルを実例から学び、就農に向けて備える。



講義風景



講師・ 黒木隆 氏

第3回集合研修セミナー アンケート結果

・大変良かった 44%

良かった 44%

·普通 11%

成果

- ・自分が思っていた以上に、農地に関わる様々な事柄があると分かった
- ・農地中間管理機構のことを知ることができた
- ・早目の行動の重要性
- ・まだ具体的なイメージが湧かない状態の自分には内容が難しかった

(4) 第4回集合研修セミナー

日時:令和元年7月19日(金) 13時00分~17時00分

会場:ホテル AZ 熊本大津「藤の間」

内容:「土壌」

講師:元・熊本県農業研究センター土壌肥料研究室長

城 秀信 氏

参加者:研修生10名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名

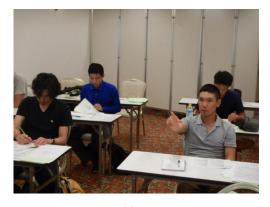
山都地域担い手育成総合支援協議会 研修生1名、事務局2名 計15名

目的: 土壌の基礎を学び、作物栽培知識の土台とする。

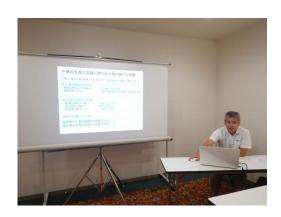
また、現在、研修中に使用している肥料の名称、成分についての基礎知識を Q&A 方式

で

質問して習得し、新規就農後の農作物管理に活用してもうらう。



講義風景



講師・城 秀信 氏

第4回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 73%
- ・良かった 27%

成果

- ・野菜別での肥料の使い方が勉強になった
- ・初めて聞く用語が多かったので勉強しなければと痛感
- ・効果、目的を知って使用できるように更に勉強したい
- ・微生物の役割の知識が学べた
- (5) 第5回集合研修セミナー(第1回 県下新規就農研修生 集合研修会)

日時:令和元年8月9日(金) 13時00分~17時00分

会場:熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容:「気象」

講師:NPO 法人熊本県就農支援機関協議会、NPO 法人九州エコファーマーズセンター 理事長 木之内 均

参加者:各機関研修生 44 名、N P O 法人九州エコファーマーズセンター2 名、関係機関 3 名認定研修機関担当者 5 名、NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 1 名 計 55 名

目的: 農業者に必要な要素である、気候の変化に敏感な感覚を身に付けることを目標に、気象に 関する基礎知識、日本各地、更には自らの就農予定地域に於ける気候の特徴を把握し、天気 図の見方も習得して農作物栽培に生かす。



講義風景



理事長・木之内



質疑応答



熱心に耳を傾ける研修生

第5回集合研修セミナー(第1回 県下新規就農研修生 集合研修会) アンケート結果

・大変良かった 66%・良かった 25%・普通 9%

- ・自分の地域での気象の変化を記録することの重要性が分かった
- ・気象の基本から天気図、前線の見方が分かった
- ・記録だけでなく常に肌で感じることが重要という話が参考になった
- ・今までハウスの開け閉めのためだけに天気を見ていたが意識が変わった

(6) 第6回集合研修セミナー

日時: 令和元年9月13日(金) 13時00分~17時00分

会場:HOTEL AZ 熊本大津 「藤の間」

内容:「病害防除①」

講師:元・熊本県立農業大学校 副校長

アリスタライフサイエンス(株) 指導員 荒木 均 氏

参加者:研修生11名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名 計13名

目的: 農薬安全使用のための基礎知識と、病害虫の基礎知識を習得し、新規就農後の農作物管理に活用してもうらう。



グループワーク



集約した意見を発表

第6回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 82%
- ・良かった 18%

- ・失敗事例を出し合って研修生同士お互いに学ぶことが多かった
- ・皆で意見交換をしあったのがとても良かった
- グループワークで今までを振り返ることができて絆が深まった
- ・それぞれの経験、意見が共有できて有意義だった

(7) 第7回集合研修セミナー

日時:令和元年10月16日(水) 13時00分~17時00分

会場:ホテル AZ 熊本大津「藤の間」

内容:「病害防除②」

講師:元・熊本県立農業大学校 副校長

アリスタライフサイエンス(株) 指導員 荒木 均 氏

参加者:研修生 11 名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2 名、計 13 名

目的: 害虫、ウイルス、糸状菌、細菌の生態と防除を学ぶ。

また、実際の症状を現物と原因となる害虫を観察して学習する。



講師・荒木均氏による実際の症例の紹介



資料として使った作物



手に取って観察する研修生



皆で順番に観察

第7回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 73%
- ・良かった 27%

成果

- ・害虫の予備知識を知ることができた
- ・病原菌の仕組みを学べた
- ・天敵、害虫、ただの虫の関係が興味深かった
- ・IPM 防除について勉強になった

(8) 第8回集合研修セミナー

日時: 令和元年 11 月 14 日(木) 5 時 50 分~8 時 00 分

会場:熊本地方卸売市場

内容:「熊本地方卸売市場 視察 |

「熊本地方卸売市場の概要と農産物市場流通の仕組み」

講師:(株)熊本地方卸売市場 総務部長 丸山 隆 氏

参加者:研修生11名、NPO法人九州エコファーマーズセンター1名、計12名

目的: 熊本地方卸売市場の朝の業務を、セリや市場全体を見学して学び、卸売市場の実際を自分の目で見てもらう。市場流通の仕組み、荷受会社の役割、他県との違い、特徴、流通量なども学び、熊本の農業の今を知ってもらう。





水産部 視察



青果部の競りを視察

青果部 視察



ボードに書き込む方式を学ぶ



(株)熊本地方卸売市場・丸山 隆 氏



市場の流通、役割の講義

第8回集合研修セミナー アンケート結果

熊本地方卸売市場 視察

- ・大変良かった 71%
- ・良かった 29%

成果

- ・実際に目の前でセリを見て、値の付く様子が印象的だった
- ・卸売業者、仲卸業者などの役割が理解できた
- ・中央市場と地方市場の違いを学べた
- ・妥協した作物はセリ人さんに見抜かれると実感した

(9) 第9回集合研修セミナー(第2回 県下新規就農研修生 集合研修会)

日時: 令和元年 12 月 9 日(月) 13 時 00 分~17 時 00 分

会場:熊本県立農業大学校 研修交流館 2階会議室

内容:「ライフサイクル」

講師: NPO 法人熊本県就農支援機関協議会、NPO 法人九州エコファーマーズセンター 理事長 木之内 均

参加者:各機関研修生31名、NPO法人九州エコファーマーズセンター2名、関係機関2名 認定研修機関担当者 3 名、NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 1 名 計 39 名

目的: 婚姻時期や、子供が生まれる時期を想定し、就学や進学時期に掛かる費用や生活費をシ ミュレーション。そこから計算して就農後の規模拡大や売上高を一年毎に計画立てる。



参加した各研修機関の研修生





研修機関の垣根を越えて意見交換 理事長・木之内と事務局長・吉村の助



言



グループワーク



意見を発表

第9回集合研修セミナー(第2回 県下新規就農研修生 集合研修会) アンケート結果

- ・大変良かった 71%
- ・良かった 29%

成果

- ・青年等就農計画認定申請書や営農計画を作成中なので、色々な情報が整理されて良かった
- ・他の研修生さんのお話も聞けて良い機会となった
- ・10年、15年先を見つめることができた。持ち帰って改めて考えていきたい
- もっと未来の自分をイメージしないといけないと痛感

(10) 第10回集合研修セミナー

日時:令和2年1月15日(水) 9時00分~12時30分

会場:ホテル AZ 熊本大津「藤の間」

内容: 「販路開拓の基礎知識」

講師:NPO法人日本プロ農業総合支援機構(J-PAO)

上席コンサルタント 髙田 裕司 氏

参加者:研修生11名、NPO法人九州エコファーマーズセンター1名、

山都地域担い手育成総合支援協議会 研修生1名 計13名

目的: 農産物流通の現状を把握し、販売チャネル構築、商品提案書作成のポイント等を 学び、ケーススタディを通して自らの販路開拓時のシミュレーションを行い、就農 後の販売、販路開拓に応用する。



講義風景



グループ討議



講師・髙田 裕司 氏



意見をまとめる担当の研修生

第10回集合研修セミナー アンケート結果

- ・大変良かった 67%
- ・良かった 33%

- ・実際に考えてみたことで身近に感じられる様になった
- ・販売のイメージを育てていこうと思った
- ・資料の表に当てはめながら自分のやりたい販売方法をイメージすることができた
- ・グループ討議を行ったことで思い付かないような意見が聞けて良かった
- (11) 第11回集合研修セミナー(第3回 県下新規就農研修生 集合研修会)

期日:令和2年2月12日(水)~13日(木)

内容:①「先輩新規就農者 講話|

- ②「先輩新規就農者 事例発表」
- ③「グループワーク」
- ④「先輩新規就農者 圃場視察」

会場: ①②③ 天草市河浦支所 研修会議室

④ 嶋田浩二氏 圃場(キュウリ・天草市河浦町) 益田龍一氏 圃場(ミニトマト・天草市天草町)

講師:野川直人氏、藤島定治氏、櫻田聖弥氏、嶋田浩二氏、益田龍一氏

参加者:各機関研修生 17 名、N P O 法人九州エコファーマーズセンター2 名、関係機関 2 名 認定研修機関担当者 7 名、NPO 法人熊本県就農支援機関協議会 1 名 計 29 名

目的: 自らの研修地・就農予定地以外の農家の取組みを視察して、栽培や販路の事例を学ぶと 共に、地域の課題や現状を知ってもらう。更に、先輩新規就農者に実例を話してもらい、 自らが就農する際の参考とする。

また、熊本県下の認定研修機関の研修生が一堂に会し、日頃の研修に関する取組みや悩み、新規就農に関する課題や夢などについて忌憚なく意見交換して、自己責任感の向上や課題解決を図る。

加えて、講師及び視察先の先輩新規就農者と意見を交わし、広い視野を持った農業者となってもらう。



先輩新規就農者の話に耳を傾ける研修生



講師・野川直人 氏



講師・藤島定治氏(左)と櫻田聖弥氏



質問をする当 NPO 九州エコの研修生



3 班に分かれてグループ討議

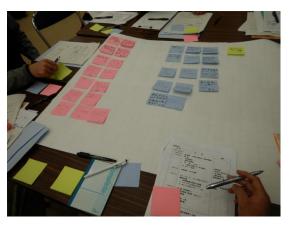


自己紹介する当 NPO 九州エコの研修

生



活発に意見を出し合う



出た意見を項目ごとに色分け



発表の際、紙を持つ当 NPO 九州エコの研修生 2 人修生



発表をする当 NPO 九州エコの研



先輩新規就農者・嶋田氏の圃場視察



嶋田 浩二 氏



説明を受けながら視察



視察風景



益田龍一 氏



説明を聞く研修生達



メモを取る当 NPO 九州エコの研修生



メモを取る当 NPO 九州エコの研







記念撮影の集合写真

第11回集合研修セミナー(第3回 県下新規就農研修生 集合研修会) アンケート結果

○全体的な印象について

・大変良かった 65%

・良かった 29%

·普通 6%

○講話、事例発表

- ・大変良かった 59%
- ・良かった 41%

- ・諦めないことの大切さを学んだ
- ・野川さんのバイタリティーや情熱が伝わりました
- ・新規就農者になる人にとって大切なこと、言葉が沢山聞けて大変勉強になった
- ・新規から始められている例でしたので参考になりました
- ・熱意と意欲があれば、困難も乗り越えられることを知って、自分にはまだ足りないものだったと気づき、もっと行動しようと心から思える時間だった
- ・新規就農するにあたり、負けん気があれば頑張れる
- 経験が長い方と短い方の意見が聞けたのは良かった

・発表者2人とも新規就農の切っ掛け、現在の状況が分かりやすくとても良かった

○グループ討議

- ・大変良かった 82%
- ・良かった 12%
- · 普通 6%

成果

- ・他の研修生の疑問や悩みなどが共有出来て良かった
- ・とても良かったです。楽しかった
- ・充実したお話が出来たのでとても良かったです
- ・自由に話す時間を持てて良かった
- ・同じ目標を持った人たちと話が出来た点が良かった
- ・日頃の農作業とは違い、色々な話が聞けて考えることが出来て良かった
- ・時間が経過するごとに三カ所の声が大きくなって意見、情報交換ができて良かった

○現地圃場視察

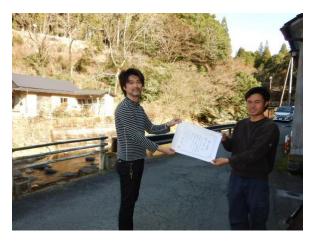
- ・大変良かった 76%
- ・良かった 24%

- ・土づくりの大切さを改めて実感し、今後の就業の目標が定まった
- ・2人の行動力に感心した
- ・先進技術や考え方等を聞くことが出来た
- ・現場の農家さんの話を詳しく聞けたので、すごく参考になりました
- ・新しい設備を見ることが出来ました。他の作物の土づくり、温度管理のやり方を聞けて参考になった
- ・ハウス内の様子が参考になった
- ずばり、隠し事無しにお話しくださり良かった

(12) 第 12 回集合研修セミナー ・ 修了式

令和 2 年 3 月 24 日(火)にメルパルク熊本で予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、県内感染確認等を受けて中止した。

修了証書及び記念品は、3月中旬までに事務局が個別に回り授与した。













理事長代理で事務局が修了証書・記念品授与